

化粧品品質保証と

1名分料金で
2人目無料

クレーム対応をふまえた品質試験実施のポイント【LIVE配信】

- ◆日時：2021年3月30日（火）10:30～16:30
- ◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をさせていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円（税込）
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で55,000円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：中小企業診断士 鈴木 欽也 氏

【ご専門】化粧品全般に渡る生産技術、ISOGMP、cGMP（Cosmetic Drug）の指導、トヨタ生産方式の指導

【ご経歴】1980年早稲田大学理工学部卒業後、(株)資生堂に入社。掛川工場で検査、処方開発・生産技術開発を担当（約11年間）。その後、本社生産技術部で海外事業戦略、海外工場建設、生産技術移転、海外薬事対応、海外原料・資材・製品調達業務を担当（約10年間）。中国北京工場の取締役工場長（約3.5年間）、掛川工場技術部長、大阪工場技術部長を担当（約6年間）、(株)コスモビューティー執行役員 品質管理部長としてベトナム工場、中国工場を建設。その後、(株)ディー・エイチ・シーさいたま岩槻工場の工場長でメーキャップ製品の工場改修・立上げを実施した。(株)資生堂に在籍中、米国OTC製品の化粧品業界で日本国内初のFDA査察を受け入れ、指摘事項ゼロ件での対応、ヒアルロン酸のヨーロッパ原薬登録・米国FDA登録、ヒアルロン酸の原薬工場棟の増設を責任者として推進した。2017年から中小企業診断士として中小企業の5S活動、品質管理、経営革新計画の作成支援、化粧品の品質トラブル対策、ISO22716の体制構築のコンサルティングの活動中。

化粧品の品質管理体制は、一般的にはISO22716（化粧品GMP）への適合に向けた体制の整備と確実な運用が基本となります。しかしながら、もの作りと具体的な個々の製品保証においては、加速試験や過酷条件でのバリデーションの考えに基づく試験保証が必須です。しかしながら、これらは各社のノウハウと企業方針に基づく要素が大きいため、統括して議論されるケースはあまり見られませんでした。現在、Made IN Japanの安全、安心の化粧品が東南アジアを中心目され、各社においてもビジネスのグローバル展開が求められている状況を鑑み、自社の製品についてバリューチェーン分析に基づき企画段階から販売後までの自社商品の強みを再評価、再認識すると共に、品質リスクアセスメントの手法を中心に、講演者の具体的な事例を中心に系統立てて学ぶことで、自社の品質保証体制の再強化、再構築の展開に繋がることを目指します。また、最近では外部委託先を活用したビジネスモデルも多く見られていることから、外部委託先の評価の方法や監査の進め方についても学ぶことで、各企業において実践的な品質保証の体制の充実化、強化に結び付けることを目指します。

- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|-------------------------|----------------|
| 1. トラブル対応に基づく品質保証体制のチェックポイント | 3.2 海外法規とGMP要求の概要 | 5.2 官能検査の進め方 | 5.3 異物対策 |
| 1.1 開発段階から販売までの品質保証体制とは？ | 3.3 ISO9001とISO22716の考え方の違い | 5.4 バリデーション | 5.5 外部生産委託先の管理 |
| 1.2 表示の誤りに関する推定される管理体制の不備対策 | 4. 企画・設計段階での保障 | 6. 物流段階での保障 | |
| 1.3 異物混入に関する推定される管理体制の不備対策 | 4.1 機能展開とは | 6.1 輸送時の品質リスク | 6.2 輸送試験、激動試験 |
| 1.4 化粧品製造におけるGMPの位置付け | 4.2 スケールアップの基本的な考え方 | 7. 販売段階での保障 | |
| 1.5 自主点検によるGMP体制の再構築の進め方 | 4.3 材料保障について | 7.1 耐光性試験と耐光性保障 | |
| 2. お客様視点での品質保証とは | 4.3.1 材質選定の留意点 | 7.2 お客様視点と生産者視点の違い | |
| 2.1 自社製品の独自価値は？（4C分析） | 4.3.2 材料設計段階でのFMEAの展開について | 7.3 使用状況を踏まえた過酷試験について | |
| 2.2 自社製品の価値創造とその品質保証 | 4.4 微生物保障について | 8. 市販後の保障 | |
| 2.3 製品を使い終わるまでの品質保証の進め方 | 4.5 原料保障について | 8.1 市販後の保障 | |
| 3. グローバル展開に対する品質保証とは？ | 5. 量産段階での保障 | 8.2 3年間保障の根拠データの揃え方 | |
| 3.1 グローバル視点で商品を考える | 5.1 作業の標準化とヒューマンエラー | 9. お客様苦情・クレームに対する対応について | |

【LIVE配信セミナーとは？】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた（<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>）をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式（受講券、請求書、会場の地図）になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL（<https://zoom.us/test>）から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は、「製本して郵送」または「PDFデータをメール添付」し、前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・講義の録音、録画などの行為や、テキスト資料、講演データの権利者の許可なく複製、転用、販売などの二次利用することを固く禁じます。

『化粧品品質保証【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送